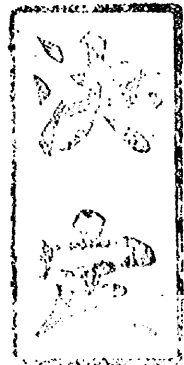


最高戦争指導會議
報告第十一號

20
部内第18號

昭和二十年二月二十六日



印度支那政務處理要領

佛印處理ニ伴フ政務處理ハ本要領ノ定ムル所ニ據ル

一 佛印カ全面的ニ我カ要求ヲ受諾シタル場合

(1) 日佛印關係ハ引續キ協同防衛ノ關係ニ在ルモノトス

總督以下佛印側ノ統治機構ハ依然之ヲ存續セシメ以テ積極的ニ我

ニ協力セシムルニ努ム

(2) 再編成ニ當リ不要トナリタル佛印軍人及武装警備隊員ハ一級ハト

1146

同様ニ取扱ヒ停廢トシテ取扱フコトナシ但シ我ニ抵抗セルモノハ

佛印當局ヲシテ處斷セシメ又ハ我方ニ於テ停廢トシテ抑留ス

(ハ)一般佛國人及佛國人財産等ノ取扱ヒハ概不現狀通りトス

(ニ)安南國等ノ獨立運動ニ對シテハ帝國ハ之ヲ妨害セサルモノトス

(四)通貨ハ在來通貨ヲ使用スルモノトス

ニ佛印カ我要求ヲ應セス武力ヲ行使スル場合

(1)日佛關係ハ戰爭狀態ニ非サルモノトス但シ佛印ニ隣スル既存日印

間ノ條約ニ拘束セララルコトアシ

(四)佛印總督以下首腦者ノ職務執行ヲ認メサルモ其ノ處置ハ努メテ隱

當ニス

總督府下部機構ハ之カ活用ヲ圖ル

(イ) 佛印軍人、武装警察隊員ハ武装ヲ解除シ抵抗スルモノハ之ヲ俘虜

トシ否ルモノハナルヘク逃カニ再編成ノ上之カ活用ヲ圖ル



(ニ) 佛國人及佛國人財産ハ之ヲ敵國人及敵産トシテ取扱ハサルモノト

ス但シ作戦上特ニ必要アル場合ニハ我方ニ於テ財産ヲ管理シ居住

行動等ニ制限ヲ加フルコトアリ

(ウ) 第三國官憲及第三國人ノ取扱ヒハ通常リ限状ヲ變更セサルモノトス

(エ) 印度支那官憲ニ件ヒ安南國、カンボヂア、暹及「ルアンブラバ

ン一國ニ於テハ此等諸國固有ノ統治機關ヲ尊重シ其力ノ内面指導ノ下ニ適宜其ノ統治ニ任セシム

佛國直轄タリシ地域ニ於テハ專政ヲ施行ス但シ外部ニ對シテハ其ノ旨明示スルヲ避ケ日本專ニ於テ一時其ノ行政ノ管理ニ任スルノ建前ヲトルモトス

印度支那全域ニ亘ル共通事項ニ付テハ適當リ技術ニ於テ之カ其屬ニ任ス

(b) 安南國等ノ獨立ニ關スル指導ハ左記ニ準據ス

(1) 暹カニ安南國等ヲシテ自發的ニ佛國トノ保護條約被棄等ノ舉

ニ出テシメ獨立回復ノ事項ヲ闡明ニス

但シ具體的獨立施策ニ付テハ作威ニ支障ナキ範圍ニ於テ之ヲ行

フモノトス

(3) 安南國等ノ獨立的地位ノ向上支援ニ當リテハ原住民ヲシテ積極

的ニ我ニ協力セシムルヲ以テ根柢トシ特ニ民族意識ノ培養ヲ許

ル

(4) 安南國等ノ獨立承認ノ時期、方法等ニ關シテハ中央ニ於テ別

ニ定ム

(5) 發券銀行ハ我方ニ於テ之ヲ管理シ在來通貨ヲ使用ス但シ所要ニ應

シ當初る號單票ヲ併用スルコトアリ此ノ場合ハ爾後速カニ之ヲ同

收スルモノトス

三 經濟對策ハ自給自足態勢ヲ強化シ第一輸トシ併セテ現地民生ノ維持

ヲ圖ルヲ主眼トス

通貨ノ放出ハ力之ヲ抑制ス

備考

廣州灣租借地ニ於ケル政務處理ニ關シテハ本誌前二冊ス